

～入院診療計画書～

H 年 月 日

泌尿器科（腎盂腎炎・前立腺炎・精巣上体炎）で入院される患者さまへ

お名前 @PATIENTNAME 様 担当医師:

担当看護師:

在宅復帰支援担当者:

経過	入院日	入院2日目～退院日
達成目標	発熱・痛みを軽くすることができる	発熱・痛みがなくなり、トイレまで歩くことができる 尿や血液の異常がみられず、食べることができる
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・検査	24時間の持続点滴が入ります。 炎症をおさえるための抗生物質の点滴を朝と夕の2回します。 熱が38℃以上ある時や痛みが強い場合は、解熱鎮痛剤を使います。また、氷枕やアイスノンで冷やします。 いつも飲んでいる薬のある方は、その薬を教えてください。 引き続き飲むもの、中止するものを医師に確認します。 熱が38℃以上ある時に採血をします。 入院して2日目に採血をします。結果で持続点滴や抗生物質を続けるかを決めます。	入院して2日目の採血結果で点滴を続けるかどうか、 また、薬の種類をかえるかどうかが決まります。 眠れない・便秘している・気分が悪いなどありましたら いつでも看護師に相談して下さい。 
活動・安静度	トイレや歯みがき・洗面は行くことはできますが、それ以外はできるだけベッドで安静に過ごしましょう。 熱が出なくなり、持続点滴が抜けましたら、病棟内・病院内へと安静度はゆるんできます。	
食事	特に制限はありません。 糖尿病・心臓病・高血圧などある方は、治療食になる場合があります。 ごはんやおかずのかたさ、量は変更できますので、いつでもご相談下さい。 水分はできるだけたくさんとるようにしましょう。	
清潔	熱がある、点滴をしている間はタオルで体をふきます。 熱が下がり、点滴が抜けたら、シャワーができます。	
患者様および 家族への説明 在宅支援復帰計画 総合的な機能評価	毎日、午前中に回診があります。(土日・祝日もあります) 尿の量や色などを見ていきますので、 名前のかいてあるビンに毎回尿をためて下さい。 場合によっては、管をいれる場合があります。 (精巣上体炎の方は、患部を冷やします) (前立腺炎の方は、尿が取りにくい場合は管でとります)	 症状が改善されたら 退院となります。 退院後の注意事項を 看護師から説明します。

病名、入院期間などは現時点で考えられるものであり、治療・検査を進めるにしたがって変わることがあります。

市立四日市病院 泌尿器科

本人・家族署名()